

松江市立天文台 ~6月の天文教室~

2013年6月19日

6月の夜空を見上げると、真上にうしかい座のアークトゥルスが金色の光を放ち、南に目を転じるとおとめ座のスピカと土星が並んで光っているのが見えます。雨が少ない今年の梅雨、星空の下を舞うホタルもちょっと風情があっていいかもしれません。

6月下旬の午後8時頃の星空



6月下旬の午後8時頃の星空です。月や土星は6月19日の位置を表示していますが、見かけの大きさは実際とは違います。実際の空を見ながら星を探すときは見る方角を下の方にあわせませす。



★今夜の月

6月19日の月は月齢10、土星のすぐ近くで光っています。
上弦(半月)を過ぎて月は徐々に太っていき、23日(日)に満月となります。

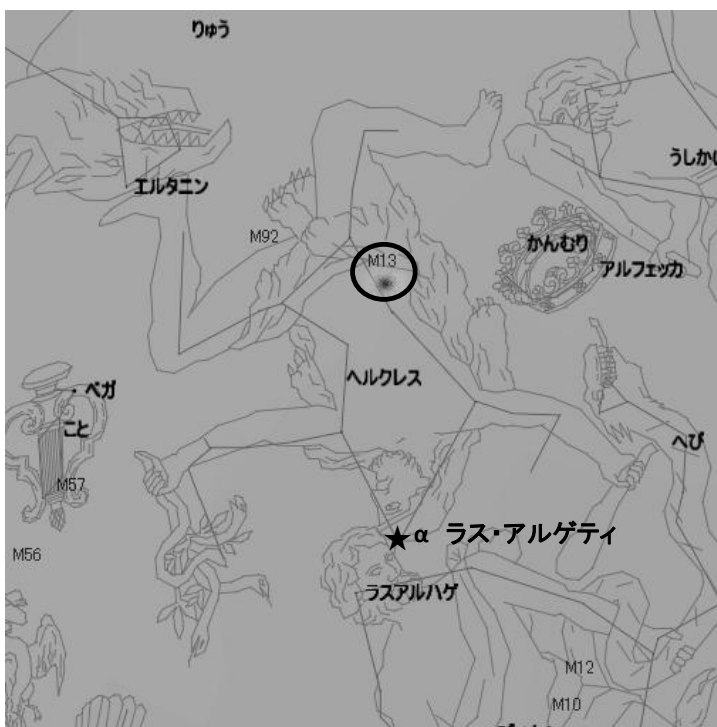
★土星が見頃です。

土星は私たちの地球と同じく、太陽を回る惑星の仲間で、「輪のある星」として有名です。

小型の天体望遠鏡でも、その美しい姿を見ることができるので、是非ご覧になってみてください。

土星最大の衛星タイタンも見られます。

※月も土星も、実際に天体望遠鏡で見ると、上下左右がさかさまに見えます。



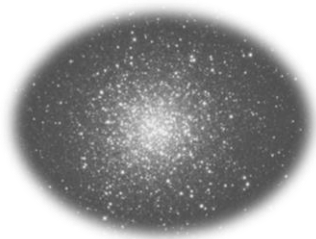
★ヘルクレス座

ヘルクレス座は真夏に天頂付近に見える大きな星座で、明るい星が少なく目立ちませんが、有名な球状星団M13があることで有名です。星図では、片手に棍棒、もう一方の手に2匹の蛇もしくは林檎の枝をもった姿として描かれます。

ギリシャ神話で数々の冒険を成し遂げながら悲劇の結末を迎えた英雄ヘラクレス(星座名はラテン語読みです)が星座になっています。

α星のラス・アルゲティは、天体望遠鏡で色の対比が楽しめる二重星です。明るい方がオレンジ色、もう一方が青緑色に見えられています。

球状星団 M13



M13は北の空で見える最も大きな球状星団です。双眼鏡で星がにじんだように見え、小型天体望遠鏡では、もうろうとした球状のかたまりに見えてきます。天体望遠鏡の口径が大きくなれば、星の集団であることが分かり、非常に神秘的な眺めです。

約2万6千光年の距離にあると言われています。(アストローツより引用)

次回の天文教室は

7月17日(水) 20時から21時(受付19時30分から)



★ MAC Matsue Astronomy Club 松江星の会